

【直接応募(大学取りまとめ)】

奨学金等名称 Name of Foundation (or Name of Scholarship)			
佐藤陽国際奨学財団私費留学奨学生(秋募集) Sato Yo International Scholarship Foundation (Fall Application)			
募集人数 Number of Openings	全体 Total		本学よりの採用実績(前年度) Previous Year's Record
	約20名		1
学部・研究科 Department	不問		
国籍 Nationality	バングラデシュ、ブータン、ブルネイ、カンボジア、インド、インドネシア、 ラオス、マレーシア、モルディブ、ミャンマー、ネパール、パキスタン、 フィリピン、シンガポール、スリランカ、タイ、東ティモール、ベトナム		
主な応募資格 Some of Eligibility Requirements	2018年10月現在 ・上記の国籍を有する私費外国人留学生で、学部又は大学院に在籍する正規学生。 (研究生、日本国籍を有する者は応募不可) ・勉学・研究に支障のない日本語能力を有する者 Japanese skills required ・国際理解と親善に関心を持ち、交流会に必ず出席できる者 ・奨学金に類する金品を受給していない者 ※貸与奨学金受給者は応募可 ・在留資格が「留学: college student」である者 ・日本で就業している親がいない者 ・「博士」の学位を取得していない者 ・在籍している課程の修学期間が奨学金支給開始時期(2018年10月又は2019年4月)より1年以上ある者 ・奨学生終了後、OB・OGの交流活動に積極的に協力できる者 ・2018年11月18日(日)の認証式に必ず出席できる者 (この認証式に出席できない者は応募不可)		
支給期間 Duration	最長2年間 ※支給開始時期は財団の選考委員会が決定します		対象者 Qualification 在学生 (なお、2018年10月もしくは2019年4月入学の新1年生・新編入生は合格証明書もしくは合格通知書のコピーの提出が必要)
	始 From	2018年10月 2019年4月	
	至 To	2020年9月 2021年3月	
支給金額(月額) Monthly Amount			
学部生: 150,000円 大学院生: 180,000円			
応募書類提出期限 Application Documents must be submitted by:			
2018年8月8日(水) ※2018年10月及び2019年4月期入学の新入生・新編入生のみ2018年9月5日(水)まで受付 大学で取りまとめて提出するため、財団記載の期限とは異なります。個人での提出は不可			
応募書類受付窓口 Applicants must submit the documents to:			
西千葉キャンパス 学務部留学生課(国際教育センター1階) 松戸キャンパス ISD松戸キャンパスブランチ(園芸学部管理棟1階) 亥鼻キャンパス ISD亥鼻キャンパスブランチ(医学部本館1階)			
日程 Schedule			
10月4日結果通知(書類選考)、10月21又は22日面接実施、10月23日結果通知(面接選考)、11月18日認証式			
特記事項 Note	・募集要項および申込書は、下記URLより入手し、熟読の上、記入してください。 http://sisf.or.jp/ja/scholarship/foreign-studies/self-supporting/ ・申込書を記入後、必要書類をそろえて各キャンパスの応募書類受付窓口へ提出してください。		

公益財団法人佐藤陽国際奨学財団

私費留学奨学生 募集要項

(秋募集)

2018年10月期 私費留学奨学生 (奨学支援期間:2018年10月～2020年9月)

2019年4月期 私費留学奨学生 (奨学支援期間:2019年4月～2021年3月)

公益財団法人佐藤陽国際奨学財団は、「日本で学ぶ」
次のような学生を支援します。

- ・ 学業に優れ、学業に専念する者
- ・ 日本文化をはじめ、異文化理解など国際交流に努める者
- ・ 地域交流、ボランティア活動など社会貢献に努める者
- ・ 学んだことを社会に役立てる意欲のある者

学内締切:2018年8月8日(水)

ただし、2018年10月及び2019年4月期入学の新編入生(学部生)と
新入生(大学院生)は9月5日(水)まで

提出場所:留学生課(国際教育センター1階事務室)

ISD亥鼻ランチ、ISD松戸ランチ

~~書類受付期間:2018年8月22日(水)まで(消印有効)~~

~~ただし、2018年10月及び2019年4月期入学の新編入生(学部生)及び新入生(大学院生)に限り
9月12日(水)まで受け付けます。~~

このたび公益財団法人佐藤陽国際奨学財団は、私費留学奨学生の「秋募集」を行います。
募集対象者(応募資格者)は下記の通りです。

学部学生： 在籍している日本の大学及び高等専門学校等の成績証明書が提出可能な者(資料 I 参照)
大学院生： 奨学金支給開始時に入学する大学院の合格証明書もしくは在学証明書が提出可能な者

募集期間終了日までに合格証明書もしくは内定を証明できる書類の入手できない 2019 年 4 月入学の新編入生(学部生)及び新入生(大学院生)につきましては、2019 年 1 月に「春募集」として別途募集を行います。

申込書の記載にあたり、在籍(進学)大学・学年等につきましては、2018 年 10 月時点をご記入ください。
2019 年 4 月に進学が決定している学生のみ、2019 年 4 月時点の学年をご記入ください。

I. 応募資格 (2018 年 10 月現在) (再応募も可能)

バングラデシュ、ブータン、ブルネイ、カンボジア、インド、インドネシア、ラオス、マレーシア、モルディブ、ミャンマー、ネパール、パキスタン、フィリピン、シンガポール、スリランカ、タイ、東ティモール、ベトナムから来日し、当該国の国籍を有し、文部科学省所轄大学の学部又は大学院に在籍する私費留学生で、下記の条件を満たす者(ただし、日本国籍を有する者、短期大学生及び研究生を除く。)

- ① 国際理解と親善に関心を持ち、当財団の交流会に必ず出席できる者
(交流会は年 6 回、主に東京で開催。交通費支給)
- ② 学習奨励金等の名目の如何にかかわらず他の奨学支援団体等から奨学金又はそれに類する金品を受給していない者(研究助成金、海外インターンシップ助成金などを受給している場合は、事務局に事前に問合せること。貸与奨学金については応募可)
- ③ 学内の特別プログラム等で、用途の自由な金銭を受給していない者
但し、②③については、応募時に上記の金品を受給している場合であっても、当財団の奨学金支給開始時(2018 年 10 月 or 2019 年 4 月)に、支給が終了している場合には、応募可
- ④ 在留資格「留学:college student」を有する者
- ⑤ 日本で就業している親がいない者
- ⑥ 「博士」の学位を取得していない者
- ⑦ 就労していない者
- ⑧ 課程の修学期間が奨学金支給開始時(2018 年 10 月又は 2019 年 4 月)より 1 年以上ある者ただし、当財団の奨学生である学部学生が再応募する場合は、6ヶ月でも可とし、応募及び選考については奨学金支給終了予定月の半年前に行う。(該当する当財団の奨学生の応募書類は別書式になるので、事務局までお問い合わせください。)
- ⑨ 勉学・研究に支障のない日本語能力を有する者
- ⑩ 当財団の奨学生を終了後、SATOM として財団の交流活動やネットワーク参加等に積極的に協力できる者(SATOM(サトム)とは当財団の卒業生の総称です。)
- ⑪ 学部学生は、在籍している日本の大学及び高等専門学校等の日本発行の成績証明書が提出可能な者

II. 奨学金

1. 支給額 学部学生 月額 150,000 円
 大学院生 月額 180,000 円（この他に学会出席補助金制度あり）

2. 支給期間

奨学金の支給開始時期は選考委員会が個別に決定します。

- ・ 2018 年 10 月期生 2018 年 10 月から 2020 年 9 月までの 2 年間
- ・ 2019 年 4 月期生 2019 年 4 月から 2021 年 3 月までの 2 年間

※ただし、採用時の課程修了までの標準修業年限とする。

2 年以内に採用時在籍課程を卒業又は修了した場合(学部から修士、修士から博士へ進学など)は、その時点で支給終了となる。(例:学部 4 年生、修士 2 年生の場合、支給期間は 1 年間となる。)

※博士後期課程採用者について

- ・ 課程修了までの期間
- ・ 2 年以上の奨学金受給予定の学生は、奨学金支給開始時より 1 年半後に選考委員会による研究の進捗確認を行い、標準年限内に博士号の取得が困難と判断された場合に、奨学金の支給が通常の 2 年で終了することもある。

3. 支給方法 支給は 2 ヶ月に一度、2 ヶ月分を本人名義の口座に振り込む。

III. 募集人数

約 20 名

IV. 書類受付期間

~~2018 年 8 月 22 日(水)まで(消印有効)~~

- ・ ~~ただし、2018 年 10 月及び 2019 年 4 月期入学の新編入生(学部生)及び新入生(大学院生)に限り 9 月 12 日(水)まで受け付けます。~~

1 枚目の学内締め切り日までに提出ください

V. 応募書類

奨学金受給開始時に在籍する課程の提出書類を添付してください。

提出書類については、学生が記入する部分は全て自筆であること。ひらがな、カタカナでも可

○:必須

応募書類	用紙	学部	修士	博士	備考
奨学生申込書	別紙①	○	○	○	日本語 自筆
履歴書 1・2	別紙②	○	○	○	日本語 自筆
推薦状	別紙③	○	○	○	英語の場合は日本語訳を添付 ※指導教員により厳封のこと
評価書 (博士課程対象)	別紙④	—	—	○	
エッセイ ※	別紙⑤	○	○	○	日本語 自筆 (所定用紙 A4 2枚)
学業成績表		○	○	○	資料 I 参照
研究実績	A4	—	○	○	日本語 ワープロ可 資料 II 参照
研究計画書	A4	—	○	○	日本語 ワープロ可 資料 II 参照 1枚
在学証明書(原本)もしくは合格証明書(コピー)		○	○	○	新入・新編入の場合は「合格証明書」もしくは「入学内定を証明できる書類」(コピー可)

※ 別紙②「履歴書 1」の「語学能力(日本語・英語・その他語学力)」の欄は選考において参考にする。

※ 別紙③「推薦状」は、指導教員に記入のこと。ただし、指導教員が決まっていない学生に限り、あなたのことをよく知っている在籍教育機関の教員または身元保証人、寮長などが記入することを認める。

※ 当財団奨学生経験者は、別紙⑤「エッセイ」のテーマを別に設ける。当財団ホームページ「奨学生のページ(パスワード有)より、再応募用のエッセイフォームをダウンロードすること

※ 応募書類は返却しない。

VI. 応募方法

2018年10月に在籍する大学の留学生課を窓口として、「V. 応募書類」を書類受付期間内に当財団宛に郵送のこと。書類不備及び応募者個人からの直接郵送の場合は無効とする。

※上記窓口が応募を受け付けない場合に限り、新編入生(学部学生)及び新入生(大学院生)の応募に関しては、在籍学校を窓口とすることも可とする。

【留学生課からの応募方法について】

下記の点に注意し、留学生課を窓口として応募書類を一括して財団事務局宛に提出ください。

※大学で用意するため、学生は提出不要

- ~~1. 長形 3 号封筒 (留学生課住所・担当者名を明記の上、82 円切手貼付) …… 2 通~~
~~財団から留学生課へ受付番号等を一括送付する際に使用する。大学毎に 2 通同封すること~~
- 応募書類(厳封書類除く)の中に A4 サイズ以外の書類がある場合は A4 サイズにコピーしたものを、原本とともに同封すること
両面コピー不可、ホチキス留め不可
- 厳封書類は、応募書類の一番上にクリップで添付すること
書類間に厳封書類を挟まないこと

【応募書類送付先】

〒153-0064

東京都目黒区下目黒 1-7-1

公益財団法人佐藤陽国際奨学財団 事務局

VII. 選考及び結果発表

一次選考 書面選考

- ・ 一次選考の結果は、10月4日(木)に留学生課宛に発送する。

二次選考 面接 10月20日(土)または10月21日(日)に東京にて実施する。

出席必須(国内交通費支給)

- ・ 面接は日本語で行う。
- ・ 二次選考の要領は一次選考結果通知後、対象者の留学生課宛に郵送する。
- ・ 二次選考の結果は、10月23日(火)に留学生課宛に発送する。

※選考の結果は、一次選考(10月4日発表)、二次選考(10月23日発表)ともに、発表日の午前10時より財団のホームページ(<http://www.sisf.or.jp>)に合格者の受付番号を掲載するが、郵送にて通知する「選考結果」で最終確認をしてください。なお、応募者は受付番号を事前に留学生課に確認してください。

※合格した学生は、11月18日(日)の認証式の出席が必須となる。

VIII. 留意事項

奨学生が下記の各号のいずれかに該当する場合は、奨学金の支給を停止することがある。

(「奨学生規則」を当財団のホームページ(<http://www.sisf.or.jp>)で事前に確認してください。)

- ①交流会を無断で欠席した場合
- ②「生活報告書」を期限内に提出しなかった場合
- ③年間45日を超えて日本を離れた場合
- ④病気その他の理由により修学または研究を継続できない場合
- ⑤指導教員から修学または研究の継続が不適当とされた場合
- ⑥学業成績が不良の場合
- ⑦休学・転学の場合(出産、育児による休学を除く)
- ⑧法律や社会秩序に反する行為を行った場合
- ⑨財団の名誉を傷つける行為をした場合

【個人情報の保護について】

応募書類に記載された内容は、個人情報として取り扱い奨学生選考の目的にのみ使用します。ただし下記の場合は、関係者に対して個人情報が開示されることがありますのでご了承ください。

- ① 選考のため、選考委員へ応募書類を開示する場合
- ② 重複支給の確認のため、大学担当者及び奨学団体に「合格者一覧」を提供する場合

【問い合わせ先】

〒153-0064

東京都目黒区下目黒 1-7-1

公益財団法人佐藤陽国際奨学財団 事務局

電話: 03-5487-2775

E-MAIL: sisf@sato-global.com

奨学生申込書

財団使用欄

受付日: 20

番号:

2018年10月1日現在奨学金を受給していますか。 → はい ・ いいえ

「はい」の場合は、期間を記載 → (20 年 月～20 年 月まで)

氏名	カタカナ		当財団奨学生経験	有 ・ 無
	パスポート記載の英文		性別	男 ・ 女
	母国語での表記		年齢(2018年10/1時点)	歳
生年月日	年 月 日	日本在留年数(延べ)	年	
E-mail Address	@			
電話番号	() -	国籍		
現住所	〒	最寄り駅	線 駅	
在籍(進学) 大学又は大学院	2018年10月 ・ 2019年4月 現在 (どちらかに○をつけてください)			
	<input type="checkbox"/> 大学 <input type="checkbox"/> 大学院	<input type="checkbox"/> 在籍 <input type="checkbox"/> 進学	<input type="checkbox"/> 学部 <input type="checkbox"/> 修士 <input type="checkbox"/> 博士	() 年
	<input type="checkbox"/> 学部 <input type="checkbox"/> 研究科	入学年月・編入年月(どちらかに○をつけてください)		
	<input type="checkbox"/> 学科 <input type="checkbox"/> 専攻	年 月		
指導教員名	卒業予定年月 年 月			
修学使用言語	日本語 ・ 英語 ・ その他 () 語			
専攻分野分類	人文科学 ・ 社会科学 ・ 理学 ・ 工学 ・ 農学 ・ 医歯薬保健学 ・ 教育学 ・ 芸術学 ・ その他			
留学生 担当部署 (申請窓口が記入)	担当部署名(上記在籍大学以外からの申請は申請学校名を明記):	電話 () -		
	担当者名	FAX () -		
	住所 〒			
提出資料の有無	(学部学生) 日本留学試験に関する証明書	(大学院生) 研究実績		
	有 ・ 無	有 ・ 無		

申込日 2018年 月 日

【受付番号票】 (学校名、氏名を記入のこと)

申請学校名	氏名(カタカナ)
	様

奨学生申込書を 番で受け付けました。

受付年月日

氏名(カタカナ): _____

学歴	No.	期 間	学校名	課程	所在地 (国・都市名)	専攻科目	経歴	奨学金 受給
	1	年 月から 年 月まで	高校				卒業・中退	有/無
	2	年 月から 年 月まで		学・修・博・他			編入・入学 卒業・中退	有/無
	3	年 月から 年 月まで		学・修・博・他			編入・入学 卒業・中退	有/無
	4	年 月から 年 月まで		学・修・博・他			編入・入学 卒業・中退	有/無
	5	年 月から 年 月まで		学・修・博・他			編入・入学 卒業・中退	有/無
	6	年 月から 年 月まで		学・修・博・他			編入・入学 卒業・中退	有/無
	7	年 月から 年 月まで		学・修・博・他			編入・入学 卒業・中退	有/無
「中退」もしくは「休学」の場合は、理由を記入								
職歴	期 間	勤務先	所在地 (国・都市名)	職務内容 (在籍状況)				
	年 月から 年 月まで			在籍・休職・退職				
	年 月から 年 月まで			在籍・休職・退職				
	年 月から 年 月まで			在籍・休職・退職				
資格・免許	受賞歴		特技					
語学力					過去における日本の在住履歴			
(日本語) 日本語以外で修学している学生は、日本語への取り組みを必ず記入すること			(英語)					
			(その他語学力)					
国際交流、社会貢献活動の経験 (具体的に書くこと) ※必須					所属する教育支援プログラム名			
推薦状(別紙③)を依頼した方との「関係」と、その「理由」								

【記入の注意点】

- ・ 「学歴」は高等学校から現在に至るまでを記入すること。書く欄が足りない場合は、別途(A4 サイズ)にて記入し、あわせて提出すること
- ・ 「学歴」は空白期間がないように記入すること。日本語学校在籍、研究生の期間についても記入すること

履歴書-2

氏名(カタカナ): _____

- ・現在・過去に当財団の奨学生であった家族・親戚がいたら、家庭状況の表右の欄に○をつけること
- ・家族の他に日本に在留する親戚(おじ、おば、いとこなど)がいる場合は「家庭状況欄」に記入すること

家庭状況	氏名	国籍	年齢	現住所(国・都市名)	現在の勤務先・学校名	当財団奨学生経験
	配偶者					
	子供					
	父					
	母					
	兄弟姉妹					

経済状況	収入	仕送り	有 ・ 無		年額	円	
		アルバイト、その他給与(内容: _____)				月額	円
	配偶者の収入	勤務先 (_____) 仕事の内容 (_____)				月額	円
		受給中の奨学金	有 ・ 無	受給期間		受給金額	
		名称		年 月 ~ 年 月	月額	円	
	名称		年 月 ~ 年 月	月額	円		
住居	賃貸住宅 ・ 寮 ・ その他 (_____)		一人住まい ・ (_____)人住まい		自己負担額 月額	円/人	

年間授業料	円	授業料免除の有無に関わらず、進学先大学の年間授業料を記入ください。
-------	---	-----------------------------------

過去4年間に受給した「奨学金」および「研究助成金」、「授業料免除」の実績 (名称・受給期間・受給総額)					
年	奨学金・研究助成金			授業料免除	
	名称	期間	総額	期間	免除額
2018			円		円
2017			円		円
2016			円		円
2015			円		円

奨学金および研究助成金の実績を上記表で書き足りない場合は、こちらの欄に記入ください。

併願状況 (奨学金に類するもの全て記入)	申請先	結果発表月日
		月 日 発表

記入例

別紙①(自筆)

奨学生申込書

財団使用欄

受付日: 20

番号:

2018年10月1日現在奨学金を受給していますか。 → はい ・ いいえ

「はい」の場合は、期間を記載 → (20 年 月 ~ 20 年 月まで)

氏名	カタカナ	サトウ イチロウ	当財団奨学生経験	有 ・ <u>無</u>
	パスポート記載の英文	SATO ICHIRO	性別	<u>男</u> ・ 女
	母国語での表記	佐藤 一郎	年齢(2018年10/1時点)	29 歳
生年月日	1988 年 12 月 14 日	日本在留年数(延べ)	8 年	
E-mail Address	1234 @ 5678.com			
電話番号	(03) 1234 - 5678	国籍	タイ	
現住所	〒 000-0000 東京都目黒区00-00-0	最寄り駅	JR山手線 目黒 線駅	
在籍(進学) 大学又は大学院	2018年10月・2019年4月 現在 (どちらかに○をつけてください)			
	<input type="checkbox"/> 大学 <input checked="" type="checkbox"/> 大学院	<input checked="" type="checkbox"/> 在籍 <input type="checkbox"/> 進学	<input type="checkbox"/> 学部 <input checked="" type="checkbox"/> 修士 (1) 年	
	工学	<input type="checkbox"/> 学部 <input checked="" type="checkbox"/> 研究科	<input type="checkbox"/> 博士	
	<input type="checkbox"/> 学科 <input checked="" type="checkbox"/> 専攻	入学年月/編入年月(どちらかに○をつけてください)	2018 年 4 月	
指導教員名	山○ △子	卒業予定年月	2020 年 3 月	
修学使用言語	<u>日本語</u> ・ <u>英語</u> ・ その他 () 語			
専攻分野分類	人文科学 ・ 社会科学 ・ 理学 ・ <u>工学</u> ・ 農学 ・ 医歯薬保健学 ・ 教育学 ・ 芸術学 ・ その他			
留学生 担当部署 (申請窓口が記入)	担当部署名(上記在籍大学以外からの申請は申請学校名を明記):	留学生課		
	担当者名	○川 ○夫		
	住所 〒 000-0000	東京都○○区00-1		
提出資料の有無	(学部学生) 日本留学試験に関する証明書	(大学院生) 研究実績	有 <u>有</u> ・ 無	

写真添付(カラー)

(3ヶ月以内に撮影したものを貼付のこと)

4.5 × 3.5 cm、上半身、正面、脱帽、裏面に氏名を記入のこと

申込日 2018年 8 月 1 日

【受付番号票】 (学校名、氏名を記入のこと)

申請学校名	氏名(カタカナ)
○○ 大学	サトウ イチロウ 様

奨学生申込書を _____ 番で受け付けました。

受付年月日 _____

履歴書-1

記入例

別紙②-1/2(自筆)

氏名(カタカナ):

サトウ イチロウ

学歴	No.	期 間	学校名	課程	所在地 (国・都市名)	専攻科目	経歴	奨学金 受給	
	1	2005年4月から 2008年3月まで	〇〇 高校		タイ・バンコク		卒業・中退	有/無	
	2	2008年4月から 2010年3月まで	〇▲ 大学	学・修・博・他	タイ・バンコク	工学	編入・入学 卒業・中退	有/無	
	3	2012年4月から 2014年3月まで	〇〇 日本語学校	学・修・博・他	日本・静岡		編入・入学 卒業・中退	有/無	
	4	2014年4月から 2018年3月まで	〇〇 大学	学・修・博・他		工学	編入・入学 卒業・中退	有/無	
	5	2018年4月から 年 月まで	〇〇 大学	学・修・博・他		工学	編入・入学 卒業・中退	有/無	
	6	年 月から 年 月まで		学・修・博・他			編入・入学 卒業・中退	有/無	
	7	年 月から 年 月まで		学・修・博・他			編入・入学 卒業・中退	有/無	
「中退」もしくは「休学」の場合は、理由を記入 ○▲ 大学の中退理由は 日本留学のためです。									
職歴	期 間	勤務先	所在地 (国・都市名)	職務内容 (在籍状況)					
	2010年4月から 2011年1月まで	〇〇 会社	タイ・バンコク	自動車の整備		在籍・休職・退職			
	年 月から 年 月まで					在籍・休職・退職			
	年 月から 年 月まで					在籍・休職・退職			
資格・免許	普通自動車免許		受賞歴	〇〇大学弁論大会 2位 (2017年12月)		特技	バドミントン		
語学力					過去における日本の在住履歴				
(日本語) 日本語以外で修学している学生は、日本語への取り組みを必ず記入すること ・日本語検定三級 (2017年7月) ・日本語センターに週2回通っている。			(英語) TOEIC 870点/990点 (2016年6月) (その他語学力) タイ語		1997~1999年の2年間 親の海外赴任のため 静岡に暮らしていました。				
国際交流、社会貢献活動の経験 (具体的に書くこと) ※必須					所属する教育支援プログラム名				
・〇〇国際交流団体の文化交流事業にボランティアとして協力 ・△△NPOによる被災者支援活動にボランティアとして毎日参加 (2014.3~現在) ・地域のタイ語ボランティアとして登録					OOLP (ヤング・リーダーズ・プログラム)				
推薦状(別紙③)を依頼した方との「関係」と、その「理由」									
学部・卒業論文の指導教員で、自分の学業・生活面を最も知っている方									

【記入の注意点】

- 「学歴」は高等学校から現在に至るまでを記入すること。書く欄が足りない場合は、別途(A4サイズ)にて記入し、あわせて提出すること
- 「学歴」は空白期間がないように記入すること。日本語学校在籍、研究生の期間についても記入すること

氏名(カタカナ):

サトウ イチロウ

- ・現在・過去に当財団の奨学生であった家族・親戚がいたら、家庭状況の表右の欄に○をつけること
- ・家族の他に日本に在留する親戚(おじ、おば、いとこなど)がいる場合は「家庭状況欄」に記入すること

家庭状況	氏名	国籍	年齢	現住所(国・都市名)	現在の勤務先・学校名	当財団奨学生経験	
	配偶者	サトウ ミチコ	タイ	25	日本・東京	○▲大学工学部4年	
	子供	サトウ アイ	タイ	1	日本・東京		
	父	サトウ ハジメ	タイ	60	タイ・バンコク	○○会社勤務	
	母	サトウ ハナコ	タイ	58	タイ・バンコク		
	兄弟姉妹	兄 サトウ ヒロシ	タイ	32	タイ・チェンマイ	▲○大学講師	
	伯父	サトウ タロウ	タイ	62	日本・大阪	□○会社勤務	

配偶者が学生の場合は
学部等詳しく記入下さい

経済状況	収入	仕送り	有 ・ 無		年額	円
		アルバイト、その他給与(内容: 新聞配達)			月額	60,000 円
	配偶者の収入	勤務先 (スーパーサトウ) 仕事の内容 (レジ)			月額	50,000 円
		受給中の奨学金	有 ・ 無	受給期間	受給金額	
		名称 ○○奨学会		2018年4月~2019年3月	月額	80,000 円
		名称		年 月~ 年 月	月額	円
住居	賃貸住宅 ・ 寮 ・ その他 ()	一人住まい ・ (3)人住まい	自己負担額	月額	10,000 円/人	

年間授業料	536,000 円	授業料免除の有無に関わらず、進学先大学の年間授業料を記入ください。
-------	------------------	-----------------------------------

過去4年間に受給した「奨学金」および「研究助成金」、「授業料免除」の実績 (名称・受給期間・受給総額)

年	奨学金・研究助成金			授業料免除	
	名称	期間	総額	期間	免除額
2018			円	2018/4~2018/9	260,000 円
2017	●● 奨学財団	2017/4~2018/3	2,160,000円		円
2016	□△ 財団	2016/4~2017/3	600,000円		円
2015			円	2015/4~2016/3	536,000 円

奨学金および研究助成金の実績を上記表で書き足りない場合は、こちらの欄に記入ください。

教育研究費 2018.4~2019.3 (年間58万6千円)

併願状況 (奨学金に類するもの全て記入)	申請先	結果発表月日
	■○財団	
		月 日 発表

国費外国人留学生制度の延長を申請している場合にも、こちらの「併願状況」に記入ください。

推薦状

記入者	学校名	所属
	職名	連絡先(TEL)
	氏名(署名) 印	記入日 年 月 日

下記の学生を、公益財団法人佐藤陽国際奨学財団の奨学生に推薦いたします。

学生氏名 _____

1. 学業面

2. 人物面(長所、短所を含む。)

3. この学生との関わりについて教えて下さい。なお、リサーチアシスタント等として採用している場合、採用した具体的理由も教えて下さい。また、契約終了時期も教えて下さい。

([例] 学部で社会学を指導している学生、経済的に困窮していたためリサーチアシスタントとして採用した学生)

※厳封にて提出願います。

※日本語以外での記入の場合は、和訳を添付してください。

※推薦状は選考において重視します。手書きでの記入を推奨しています。

評価書 (博士課程の学生のみ)

学生氏名 _____

これまで指導してこられた学生の中での相対評価として下記の数字を用いて空欄にご記入ください。

5: 大変優れている (上位 5%)	4: 優れている (上位 10%)	3: 平均以上 (上位 25%)
2: 平均的 (中間)	1: 平均以下 (50% 以下)	

① 研究者としての適性

探求心が強く、自発的に研究を進めると同時にリーダーシップを発揮する。

② 研究者としての能力

高度な実験技術や正確なデータ収集力及び分析力、論理的な文章力、プレゼンテーション力がある。

③ 発想の独創性

当該分野の研究を大きく前進させる着眼点や発想がある。

④ 研究者として特記すべき秀でた能力があればご記入ください。

⑤ 当該学生の博士号取得の見込み時期及びその可能性をご記入ください。

⑥ 博士号取得の要件をご記入ください。

※推薦状記入者と同じ方がご記入ください。(厳封にて提出願います。(ホチキス留め不要))

※但し、他大学に進学するため、推薦状記入者が⑥を記入できない場合は空欄で構いません。

学業成績表の提出について

- ・ 下表に該当する学業成績表を提出すること
- ・ 日本で発行される学業成績表は直近のオリジナルを提出すること
- ・ 母国の学業成績表など取り寄せなければならない場合の成績表はコピー提出可
ただし、母国の学業成績表については必ず「和訳」もしくは「英訳」を添付すること

2018年10月 在籍(進学)課程 (2019年4月進学する大学院生 のみ、2019年4月時の学年とし て読み替えて下さい。)	下記に該当する 学業成績表を全て提出	説明
学部生 ※	①学業成績表	<u>高校在籍期間中全ての学業成績表と在籍大学(※)の直近まで全ての学業成績表</u> ※在籍大学の学業成績表が提出できない場合は、応募資格なし(新編入生は除く)
	②日本留学試験に関する証明書(コピー可)	日本留学試験に関する証明書がない場合は、奨学生申込書(別紙①)の「提出資料の有無」の「日本留学試験に関する証明書」欄内の無に○をつけること
大学院生 ※ (修士・博士)	①学業成績表	<u>学部1年生から直近まで全ての学業成績表</u>

※高等専門学校もしくは専門学校からの編入生(編入経験のある大学院生含む)は、応募課程に係わらず高等専門学校もしくは専門学校の学業成績表も提出すること

提出する学業成績表が、『別紙②履歴書 1:学歴欄』に記載されたどの期間に該当するかがわかるように、記入例を参考に学業成績表にNo.を記入して提出すること

【記入例】『別紙②履歴書 1:学歴欄』に
該当するNo.を左上に記載 →

No. 4 学業成績表 XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX XXXXXXXXXXXXXXXXXXXX

研究実績及び研究計画書の書き方について

「研究実績」及び「研究計画書」は、それぞれに「名前」を記入して提出ください。

■研究実績

- ・ 下記①～④に該当するものを書いてください。(何件書いても可)

①公刊論文 (レフリー付)※	論文題名／著者(全員)／ジャーナル名／出版社／ 発表年／巻／ページ(最初と最後のページ)
②公刊論文 (レフリーなし)	論文題名／著者(全員)／ジャーナル名／出版社／ 発表年／巻／ページ(最初と最後のページ)
③学術発表(国内)	論文題名／発表者(全員)／学会名／開催場所／ ポスター発表 or 口頭発表／発表年月
④学術発表(海外)	論文題名／発表者(全員)／学会名／開催場所／ ポスター発表 or 口頭発表／発表年月

(研究実績を作成するにあたり)

- ・ 日本語、ワープロ可、A4 サイズ
- ・ 博士号の取得の要件に該当する研究実績には「論文題名」の横に「博士号該当要件」と明記ください。
- ・ 著者及び発表者が複数の場合は全員の名前を掲載順番通りに書き、ご自分の名前には下線を引いてください。
- ・ 公刊論文や学術発表のサマリーは添付不要です。
- ・ ※公刊論文(レフリー付)で査読中の場合は、その旨を明記ください。
- ・ 修士に進学する学生で研究実績が無い場合は、学部課程の卒論のサマリーも可とします。(A4 サイズ 1 枚にまとめる。(必須))それでも実績が無い場合は、奨学生申込書(別紙①)の「提出資料の有無」の「研究実績」欄内の無に○をつけてください。

■研究計画書

- ・ 日本語、ワープロ可、図表使用可
- ・ A4 サイズ 1 枚にまとめてください。指定枚数以上は認めません。
- ・ 研究要旨を含んで書いてください。
- ・ 専攻、研究テーマについて、一般の人にも分かるようにやさしく書いてください。